

特定非営利活動法人  
市民サポートセンター日野  
通信第23号

発行 2016年1月20日

発行人 今村久美子 編集人 土屋和子

〒191-0062 日野市多摩平 2-9 多摩平の森ふれあい館

TEL 042-583-1528 <http://www.angel-hino.com>

郵便振替番号 00180-0-612689

Citizens Support Center



特定非営利活動法人市民サポートセンター日野

# Link

数字が語る市民サポートセンター日野



## 女性支援に取り組んだ諸先輩に感謝を

「市民サポートセンター日野」の前身である「日野市女性社会事業協会」についてその設立経緯を大まかに数字で辿ってみますと、日野市は全国の区市町村に先駆けて、34年前の1982年に当時の婦人センターを設立し、同時に市長の諮問組織として婦人問題懇談会（以下、婦問懇）を設置しました。第1回婦問懇で行った「女のくらし」アンケートの結果を受けて、第2回、第3回の婦問懇は第1次、第2次答申として「日野市女性社会事業協会」設立を提言し、第4回婦問懇で実現しました。以後25年、大勢の方々のお力添えを頂きながら着実に前へと歩んでいます。これからも、当法人の理念である「男女平等社会の実現」「市民の暮らしの支援」について様々な視点から取り組んでまいります。 NPO 法人市民サポートセンター日野 理事長 今村久美子

## 原点の心意気をいつも根底に据えて

4半世紀前、日野市女性社会事業協会は「家事や育児を助けてほしい」という女性たちの切実な声を受けて、助け合い事業を展開したのがその始まりでした。14年後にこの組織は「市民サポートセンター日野」として生まれ変わり、11年が経ちました。その間ファミサポ会員数は1,000人から7,000人余に増え、4年後には0歳児に、5年後には気になる子どもたちに、8年後には子育てに不安を抱える母親にと活動の場を広げてきました。これからも日野市民に役立ち、喜んで頂ける活動を、隅々にまで届けられるよう、力を尽くしてまいります。皆さまのご支援、ご協力をお願いいたします。

NPO 法人市民サポートセンター日野 副理事長 早川裕子



# 25

市民サポートセンター日野は1991年に日野市女性社会事業協会として生まれました。

今年で何周年？ **25周年** です。

男女平等行動計画策定から生まれた日野市の市民の相互援助を活動の柱に、今では日野市からの8つの委託事業、5つの自主活動事業を行っています。これも、会員の方々、日野市民の方々、行政の方々のご理解とご支援のおかげと深く感謝しております。2015年は自治会や日野市の農家さんと新しい繋がりが出来、私たちも日野の地域性やその素晴らしさを、日野菜キッチン・出張カフェなどの活動に取り込んでいきました。

2016年はどんな出会いがあるでしょうか。今年も、NPO活動を、みんなで楽しく取り組みます。

25年続けられた幸せを  
手作り”福フクロウ”に

感謝を込めて.....



## Q. この数字は何でしょう？

# 57

コミュニティカフェ カフェ・グリーンで1杯のコーヒーを淹れるのに使う珈琲豆の数が**57個**です。フェアトレードのオーガニック珈琲をご注文の都度豆を挽きハンドドリップで提供しています。珈琲以外にも「イギリス風ミルクティ」も人気の飲み物。ミニ情報紙「珈琲豆のつぶやき」も好評です。



**コミュニティカフェ カフェ・グリーン**

# 43

平成27年度から始まった日野市の産前産後ケア事業の7か月の依頼件数です。

依頼のあった家庭には、ママサポふれんどさんが訪問しています。希望訪問時間は2時間が最多。半年間で

**95回**の訪問をしました。

掃除洗濯は定番。他には、パパのYシャツのアイロンかけ、ちょっと先の離乳食の作り方教えて…など。



**産前産後ケア事業ママサポふれんどさん**

# 441

平成25年度から始めた「おかずクラブ」日野の野菜を使った参加型料理イベント

です。日野菜ママ、日野菜ラボ、日野菜キッチンとして活動。子どもが喜ぶ野菜のレシピをたくさん作りました。3月には日野菜レシピが誕生します。441は参加したママ195名（延べ）子ども246名の合計

**441名の笑顔**の数です。

日野に笑顔がたくさんあられますように……。



**おかずクラブ/日野菜ラボ&キッチン&レシピ**

# 10,000



0歳児ステーションおむすびは、平成19年6月に開設し、今年6月には、「10年目」を迎えます。

そして昨年12月末現在の登録数は、9,616名。今年中

に「**10,000名**」を超える見込みです。初めての子育てにとまどうママ達を応援したい。時には、赤ちゃんをあずけてリフレッシュし、新鮮な気持ちでまた子育てを楽しむようになってほしいとの思いの「10年」。

いざという時にはおむすびがあるという安心を10,000名の方にお届けしました。年間の利用者は576名（平成24年度）、1回のお預かり時間は平均3.5時間。ママと赤

ちゃん、そしてパパとも、**てをむすびころをむすんで**、これからも歩いていきます。

**日野市一時保育0歳児ステーションおむすび**

# 268,710

多摩平の森ふれあい館平成 27 年の利用者数です。ふれあい館は複合施設であるとともに、豊田駅前地域の代表施設でもあり様々なお客様が来館されニーズも様々。総合受付スタッフが丁寧に対応しています。当法人が指定管理者であるふれあい館多摩平交流センターの平成 27 年利用者は **60,168 人** でした。2 月 14 日（日）に「第 1 回多摩平交流センターまつり」を実施します。

**多摩平交流センター指定管理**

# 190,800



歴史館受付は当法人スタッフ。全国からの新選組ファンを笑顔でお出迎え。3 月末まで新選組のふるさと歴史館ロビーで爪楊枝を使って作った土方歳三の絵を展示中。190,800 本の爪楊枝を使っています。

**新選組のふるさと歴史館受付**

# 46



地域の子育てのエキスパートである「ふれんどさん」。保育園の地域支援事業である地域支援広場へ出向き、体重測定やお母さんたちの話し相手に。また、保育園の地域文庫のお世話もしています。

昨年 **市立保育園 7 園** に  
計 **46 回** 訪問しました。

**ふれんどさん訪問事業**

# 37

日野市ゆかりの画家小島善太郎の自宅が記念館として日野市百草丘陵に 2 年前、開館しました。当法人スタッフが来館者をお迎えしています。百草丘陵

から見下ろす見晴らしは、非日常です。記念館の門から玄関までは、丁寧に作られた石段を登ります。37 段は記念館に着くまでの

**ワクワク  
する石段数**



**小島善太郎記念館受付**

# 84.2



毎週水曜日の午後、5 人のエプロン姿が生活保健センター入り口に並びます。おむすび・ファミサポの登録説明会です。平成 26 年度の毎回の登録率の平均は 82.4%。「預けることがあるか、わからないけど、預けられるところがあると思うだけで安心です！」とママの声。2015 年 1 月から 12 月まで

**1,248 名のママ** に安心感を届けました。

**3.4 か月健診会場  
おむすび・ファミサポ登録説明会**

# 2,350



平成 19 年度から始まった保育園巡回相談。9 年間、日野市内の保育園で行ったカンファレンスの総時間数です。毎回心理専門職と保育の専門家（保育士）が日々のよりよい保育、子どもたち一人ひとりの発達を大切に考える話し合いを重ね、園内での情報の共有を図り保育園全体で子どもたちの育

ちを見守っています。**2,350 時間**は **気づきと学びの時間**です

**保育園巡回相談そだちあい**

# 295



ファミサポは依頼会員の要望に沿って提供会員を探します。相互の意向があったところで、「事前打ち合わせ」を実施します。ファミサポアドバイザーが立ち会い、活動内容の確認とその合意を書類にする大事な機会です。アドバイザーは初めて出会う会員同士の心の交流にも気を配り、初めての出会いが地域のご縁として広がることを願います。

**295回**は、平成27年1年間にファミサポが、地域にご縁を広げた事前打ち合わせの実施回数です。

**日野市ファミリー・サポート・センター**

# 100

陽だまりプロジェクトの活動を応援する賛助会員と寄付を募集しています

NPO法人市民サポートセンター日野は平成24年3月18日に東京都より仮認定NPO法人の認証をいただきました。(仮)がとれ、「認定NPO法人」になるには、PST(パブリックサポートテスト)をクリアすることが求められています。PSTのひとつ、「年間3,000円以上の寄付をしてくださる方、または賛助会員を100人以上」をクリアできるよう、頑張っています。

平成28年3月17日までにクリアできると、晴れて認定NPO法人となります。

**認定NPO法人へ**

# 78



事業を束ね推進する事務局スタッフ

NPO 法人市民サポートセンター日野の活動は、とどまることを知りません。

「NPO法人は先見性、専門性、迅速性が強み。止まらずに常に世の中のニーズを先取りし、活動に活かさない」と励ます理事長、副理事長のもと、職員はいろいろな活動にチャレンジしています。

今年度は、自治会や日野市の農家さんともお付き合いが始まりました。

日野台、大坂上、多摩平の各自治会の集まりに出張カフェを出店し、コーヒーやクッキーを提供しながら地域の皆さんの語らいの場を提供しました。日野の農家さんとは、日野菜キッチンで使用する野菜、活動発表会で提供のお米を分けていただきました。

巡回相談では、市内保育園とは様々なつながりができ、「保育園支援コーディネーター」という新しい職能もできつつあります。

こんなに幅広く活動できるのはNPOの人材の厚さです。NPOスタッフ**78人**はNPO法人市民サポートセンター日野の宝です

**NPO法人市民サポートセンター日野**

## NPO法人市民サポートセンター日野の組織と事業

